

浜松西ロータリークラブ週報



2022～2023年度
国際ロータリー会長
ジェニファー・ジョーンズ
第2620地区 ガバナー
浅原 諒 蔵

Rotary International D2620 (静岡第5グループ)

事務所 浜松市中区元城町109-18 〒430-0946
例会場 ホテルコンコルド浜松 例会日 毎週金曜日12:30～13:30
Tel:053-457-1116 Fax:053-455-4614
E-mail : hamamatsu-nishi@ri2620.gr.jp
会長 山地峰春 幹事 外山武志
クラブ報委員会 瀧本健司 土屋 健 瀧本典彦
齋藤剛史 岩淵綾太

第2140回 Vol.46-No.30 2023/3/24(金) 12:30～13:30 (晴)

司会SAA 五十川 敏君
点鐘 会長 山地峰春君
ロータリーソング 「奉仕の理想」
ソングリーダー 竹村寿文
四つのテスト 伊藤佳典君
ゲスト 若林秀典様
(2620地区公共イメージ向上委員会委員長)(藤枝南RC)



出席報告

内藤久子君

会員数	総出席	当日出席率
49名	40名	93.33%

(免除者 17名) (事前MU 2名)

会長挨拶 山地峰春会長

皆様こんにちは。先日のWBCでの侍ジャパンの優勝には、チーム一団となつてのプレーに、日本中が勇気と元気をもらいました。素晴らしい活躍に感動しましたが、大谷選手の言動や、ダルビッシュ選手の行動には、リーダーとして学ぶ点もあったと思います。



さて、今月は「水と衛生保護月間」となっておりますが、3.11キャンドルナイトの後でもありますので、震災から学ぶ、水と衛生についてお話したいと思います。大規模地震は、現代のインフラ全てを奪ってしまいます。その際、高齢化した日本では、思わぬ危険が潜んでいます。私が知っている阪神淡路大震災で、目に見えてこない死亡者に、避難所での生活ストレスが原因と認定された人が、900人以上おりました。これは、衛生面が大きく影響しているのですが。

震災時には、上下水道・電気・ガス等インフラが寸断されます。関西電力の方の話では、「神戸は100万ドルの夜景やったのに、発生当時は1万ドルもなかった、あの光景は一生忘れない」と深夜を問わない頑張りで、7日間で電気を復旧させました。しかし、都市ガスは85日、上下水道の完全復旧には、4月まで91日かかりました。下水道は6月135日かかっています。その間様々な制限が、トイレ・入浴等の衛生管理にかかります。夜は暗闇、調理や入浴には、携帯用GAS・充電器・灯油燃料等、使用できる機器の制限がかかります。又、水を使う洗濯機・トイレも使えなくなります。上下水道の復旧長期化は、衛生面での問題を大きくしました。仮設トイレに行列ができ、更にトイレの腐臭もひどい為、皆トイレに行きたくない思考になり、食事や飲料を自分で制限しだします。他にも入浴・洗濯が出来ないことは、衛生面だけでなく、ストレスの大きな原因となります。そのことが、水分不足による免疫力の極端な低下と、ストレスが相まって、弱者が死に至るケースが起きました。避難所が受け入れられなくて、倒壊しそうな自宅へ戻ったり、川の水で洗濯をしたり、体を拭いたりする人たちも現れま

した。汚物や震災ごみの処理も仮置き場などの確保が出来ず、後手に回ると感染症の蔓延が発生します。阪神淡路大震災・東日本大震災ともに2000万トン程の震災廃棄物が発生しています。因みに兵庫県の間一般廃棄物処理量の8年分です。仮置き場が無ければ処理できる量でないのはわかるとおもいます。この震災での教訓は、障害者や高齢者達の弱者が、避難所生活で課題が大きくその整備を推進しましたが、なかなか自治体だけでは想定を超えた場合に対応できません。とくに「水と衛生」に係わる、精神的にも大切なトイレ確保・入浴・水分補給には、個人の準備が必要になります。災害発生してすぐに必要な、スコップ・バール・ロープはもちろんですが、避難所での衛生を考えた準備をすることも、今では様々な情報ツールから、手に入れることが出来ます。私の妹の家では、水道の復旧も早く給湯器が灯油燃料でしたので、湯沸かし・入浴が出来ました。GAS復旧までの期間、地域の皆さんが順番で入浴に來られて「やまさん銭湯」になり大変でした。

順に避難所から、仮設住宅へと移っていきませんが、ここでも障害者・高齢者への支援は必要なので、生活支援者を配給したり、多様性を保つために、様々な復興公営住宅が実現しました。一方で震災により多くの高齢者が入居した為に、単独高齢者世帯が45.4%と極端に高くなり、高齢化率70%の復興住宅もあったほどですので、ゴミ出しや清掃など、自治体の活動が思うように進まず、孤独死などの様々な問題が発生しました。

もう一つこの震災では、大きな課題とともに、次世代へ受け継ぐ大切な行動が起りました。阪神淡路大震災での義援金は約1800億円だったのですが、被災した人や家屋が圧倒的に多かったので、一世帯当たりの受領額は40万円ほどでした。被災者たちは貸付制度に頼らざるを得ませんでした。高齢者には無理です。中越地震では216万円、普賢岳噴火では、3,000万円を超えています。このことは、1995年を「ボランティア元年」と呼ぶきっかけになりました。

1年間で、海外からも含めて138万人ものボランティアが、震災復興応援にやってきました。そして被災者を支援する団体や、NPOが数多く生まれ。これにともない促進法など法整備も行われ、全国の自治体間の応援チームによる防災への広域連携協力体制が確立されました。

浜松市でも様々な対策をしておりますが、「水と衛生」は災害発生と同時に、問題が起ってきますので、事前の準備が無ければすぐに対応できませんし、人と人の良好な関係にも大きく影響してきます。私も改めて、忘れていたことを思いだし気を引き締めました。長くなりましたが、語りべとして、皆様にも、参考になればと思いお話をさせていただきました。

次回例会は4月5日 3クラブ合同の観桜会 聴涛館での開催となっております。

お間違えの無いようお願いいたします。本日も、最後まで例会をお楽しみください。

幹事報告 外山武志幹事

◎例会変更のお知らせはありません

◎配布物 ・週報 2139号



スマイルレポート 木下英也君

◎半場圭伊子君

本日卓話を担当します半場です。本日は地区公共イメージ向上委員会の若林委員長にお話をお伺いします。よろしくお祈りします。



◎松山巨男君

浜松市議会議員選挙が始まります。須藤京子さんも立候補されます。日頃浜松市のことに教育文化の面で地味な活動ですが大切なことです、ご支援の程よろしくお祈りします。職業奉仕ということでもよろしく。

委員会報告

◎外山武志 幹事 (地区公共イメージ委員会の報告)

2月19日ZOOMで開催された「地区チーム研修セミナー」において地区公共イメージ委員会に参加いたしました。まず、次年度からは公共イメージ向上委員会を改め公共イメージ委員会と名称を変更します。ロータリーの公共イメージの向上に努めるために3点について推奨することになりました。

1. インターネットのマイロータリーにあるブランドリソースセンターの活用を推奨する。ブランドリソースセンターには、クラブの推進に役立つ新しいアイテムが随時掲載されます。ロータリー認識向上のヒント、既成の印刷・デジタル広告、画像、動画、音声クリップ、ダウンロード用テンプレートなど、多様なリソースが収められています。これらを活用して、ロータリー会員が行動人として変化をもたらしている姿を地域社会に紹介することができます。(中略)
2. 2620地区各クラブの活動計画をマスコミにお伝えし、取材、発信していただきます。
3. SNS上のハッシュタグを算出し、もっとも多く発信したクラブの表彰を検討していきます。

◎渭原浩介 副幹事

各委員長に事業計画書を送らせていただきますので、作成ご返信と4月14日例会にて発表をお願い致します。また、4月23日(日)の地区協議会参加義務者に個別に連絡させていただきますのでご参加をお願い申し上げます。



◎瀧本健司 米山奨学生委員長

前回の例会での米山記念奨学生受入の件ですが、地区担当の小俣さんから山地会長に直接電話連絡があり「静岡第5グループは12クラブに対して、奨学生が3名ですので、寄付金の多さの関係で浜松西RCは次年度の受け入れクラブにはなれませんでした、今後に課題を残した決定になり申し訳ありません。」とのことでした。

◎土屋 健 職業奉仕委員長

3月13日に天浜線 人と時代をつなぐ花のリレープロジェクトアダプト団体交流会に西RCとして渡邊記余子さんと参加してまいりました。主催の浜松いわた信用金庫会長御室様にお言葉をいただき、塚本こなみ様にはプロジェクト立ち上げの経緯について話していただきました。現在アダプトメンバーは8700名以上になり多くの方が活動を行



っています。その活動内容の紹介、映像による花のリレープロジェクトの振り返りがあり、約1時間30分各団体と交流することができました。継続事業でもありますので引き続き天浜線全線が花が彩られるよう活動していきたいと思ひます。

◎佐藤隆是 親栄会幹事

3月28日お花見コンペの組合せを配布配布いたしました。また表彰式は梅の花にて18:30予定で行います。4月1日には第5グループゴルフ大会があります。スタート30分前までに受付をして下さい。



◎北野一正プログラム副委員長
5月度プログラムの発表

本日のプログラム

担当 半場圭伊子公共イメージ向上委員長
発表者 若林秀典様

(2620地区公共イメージ向上委員長)(藤枝南RC) タイトル 「公共イメージと認知度向上の重要性」

国際ロータリー2620地区の公共イメージ向上委員会は2017~18年度に、広報委員会から名称変更になりました。当時は変更の意味も意義もわかりませんでした。委員長になっていきさつを調べてみますとRIが2010年に列挙した3つの優先項目に

- (1) クラブのサポートの強化
- (2) 人道的奉仕の重点化と支援
- (3) 公共イメージと認知度の向上

とあります。この3つの優先項目は、スパイラル効果があります。人道的奉仕を行う→公共イメージが向上する→支援者が増え、会員増強にもつながる(クラブのサポートと強化)→人道的奉仕がさらに進む、まさに正のスパイラル効果です。このスパイラルに必要なことが、公共イメージと認知度向上のそのものです。とありました。確かに良いイメージのところにはひとが集まっていくと考えられます。つまり、広報するだけではなく、イメージを向上することにより認知度を上げようというのが名称変更の目的だったのです。(中略)

実際、マスメディアが取り上げてインパクトが高かったのが、安間バスターガバナーが新型コロナウイルスが流行始めた時にやったフェイスシールドの寄贈と静岡クラブがウクライナ戦争の初期に募金活動を行ったことでした。時勢に即した速やかな対応でした。

今後は各クラブが近隣のクラブと協力し、会員の皆様には様々なアイデアを出していただき、身の丈にあった奉仕事業をやっていただければと思います。



◆本日の例会メニュー

- ミネストローネ
- 豚ロースステーキシャリアピン風
- ツナとワカメのサラダ
- プチデザート
- パン コーヒー

5月度プログラム予定内容

委員長 竹村 寿文 副委員長 北野 一正 委員 坂本 修一

月	日	曜日	例会数	担当委員会	担当者	卓話者	内 容	備 考
5				★青少年奉仕月間				
	5	金		祝日休会(こどもの日)				
	12	金	2144	会長エレクト	青木 元男		地区研究・協議会報告	現・次理事会
	19	金	2145	青少年奉仕	中村 俊幸		インターアクトクラブ活動報告	
	26	金	2146	職業分類	村上すづ子	住空間収納プランナーマスター 渡多野友美様	親子の絆を深める生前整理	
※ガバナー補佐訪問(5/12)								